

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和6年10月17日（木）

2 確認箇所

A L P S 処理水希釈放出設備測定・確認用設備（K4タンクエリア）周辺、移送設備（多核種移送設備建屋）（図1）

3 確認項目

- (1) 多核種除去設備等処理水の放出状況（第10回）
- (2) K4タンクエリア外堰拡張工事状況の確認

4 確認結果の概要

- (1) 多核種除去設備等処理水の放出状況（第10回）

本日（10月17日）第10回目の多核種除去設備等処理水（以下「A L P S 処理水」という。）の放出が開始されたため、その状況を確認した。

放出対象：A L P S 処理水（測定・確認用サンプルタンクB群）
予定放出量：約7,800 m³
予定期間：令和6年10月17日（木）～同年11月4日（月）

【前回確認日：令和6年9月26日（第9回放出）】

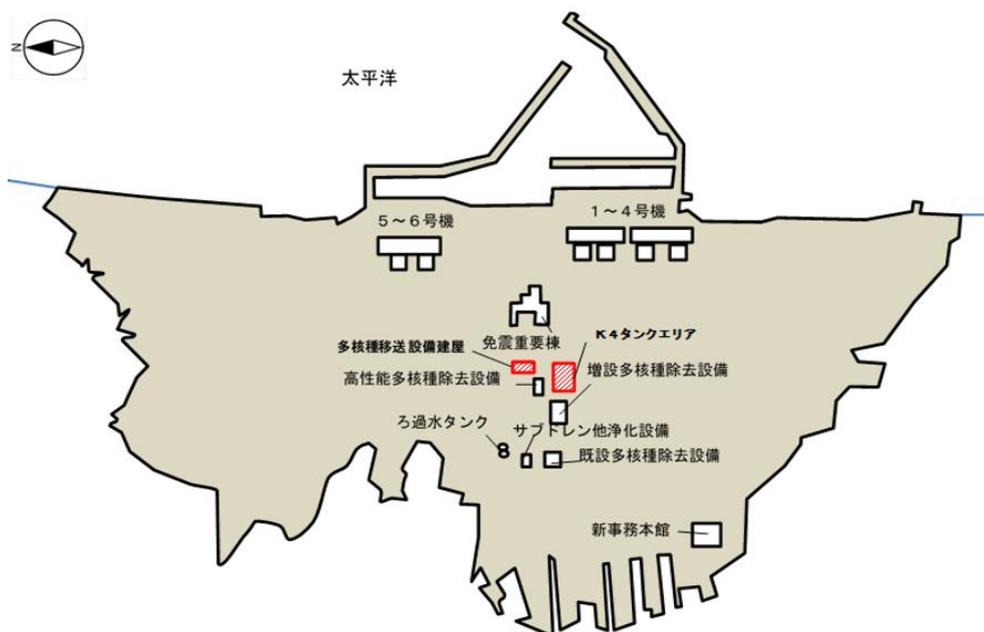
- ・東京電力社員の指示の元、元請け企業作業員が手順書を確認しながら弁の開閉操作を行っていた。（写真1）
- ・K4タンクエリア堰内を確認したところ、タンクからの水漏れ等異常はなかった。
- ・また、放出開始後、放出流路の確認が行われ、東京電力に確認したところポンプや配管等に異常はなかった。（写真2）

- (2) K4タンクエリア外堰拡張工事の状況

A L P S 処理水の漏えいや、意図しない放出等の異常発生に備えた対策として行われているK4タンクエリア外堰拡張工事^{*}の進捗状況を確認した。（前回確認日：令和6年9月11日）

※外堰拡張工事：地震等により、タンクとタンクを繋ぐ連結弁が破損してA L P S 処理水が大量に漏えいした場合に備え、堰の貯留可能量を増大させるための工事。A L P S 処理水希釈放出設備設置に係る事前了解に際して福島県原子力発電所安全確保技術検討会がとりまとめた8つの要求事項を受けて、東京電力が追加の安全対策として進めている。

- ・外堰拡張工事が進められているK4タンクエリアの南西側では、前回確認時に配備されていたラフタークレーンが撤去されていた。その他、外堰近くの鋼矢板が地中に埋設されていた。（前回確認時は、鋼矢板が敷設された状態。）（写真3）



（図1）福島第一原子力発電所構内概略図



（写真1-1）

K4タンクエリアの外観
（北西側から撮影）

ALPS処理水放出に係る作業確認については、原子力規制庁1名、経済産業省1名が立ち会っていた。



（写真1-2）

測定・確認用サンプルタンクB群の連結弁「全開」操作の状況

（チェーンロックを解除している様子）



(写真1-3)
測定・確認用サンプルタンクB群の
連結弁「全開」操作後の状況



(写真1-4)
測定・確認用サンプルタンクB群の
払出弁「全開」操作の状況
(手順書を確認しながら、バルブ操
作を実施している様子)



(写真1-5)
多核種移送設備建屋内でのバルブ操
作の状況 (手順書を確認しながらバ
ルブ操作をしている様子)



(写真2)
ALPS処理水移送ポンプ(B)の
状況



(写真3-1)
K4タンクエリア外堰拡張工事の状況①
(撮影日：令和6年9月11日)



(写真3-2)
K4タンクエリア外堰拡張工事の状況②
(撮影日：令和6年10月17日)



(写真3-3)
鋼矢板が地中に埋設されている状況

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。